

令和5年9月27日

第2回 子育て教育部会 レジюме

テーマ 「地域・まちで子どもたちの将来のために取り組めること」

1 前回の部会での主な意見 ～子どもたちの自己肯定感をより高めるために～

- ・ 単なるイベントへの参加ではなく、大人と子どもが一緒になって何かを準備段階から取り組み、その過程で大人のダメなところも一生懸命なところも全部見ながら、子ども自身が実際に努力するという経験をすることが大事である。
- ・ 家族をはじめ、いかに多くの大人と触れ合う機会を持てるかが重要。
- ・ 一から自分たちでやってみること、例えば北田辺商店街でやっているイベントで「こどもあきんDO!」という取り組みがある。子供たちに仕入れや販売など実際に商売をさせることで工夫を競い合わせて、そこから職業、仕事の面白さや真剣さを学ぶ。
- ・ 子どもたち自身に活動させることで、現実の体験を通じて得られるものは多いと思う。区フェスなどのイベントの中で、子どもたちが活動する場を作ってみてはどうか。
- ・ どこかの有名人よりも中小企業や金融機関で働く「普通の人」の経験に触れてもらう方が働く意欲がわくかもしれない。
- ・ 神戸市長田区で「誰でも来ていいハウス」という取り組みがある。
区役所の会議室とか、野原とか、何も無いところで自分で何か考えて、自由にできる空間があればいい。
誰でも行ける、受け入れる居場所を作ること。
➡ はっぴーの家ろっけん

2 事例研究

体験型

- ① こども物産展 あきん DO! (東住吉区 北田辺)
こどもあきん DO! (peraichi.com)

- ② プロスポーツ選手等による市立小中学校での講話や実技指導

大阪市東住吉区: NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪が田辺中学校で職業講話を行いました (まちづくり>スポーツのまち東住吉) (osaka.lg.jp)

大阪市東住吉区: NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪が区内中学生にラグビー指導をしました (まちづくり>スポーツのまち東住吉) (osaka.lg.jp)

居場所型

- ③ はっぴーの家ろっけん (神戸市長田区 六間道)
<https://www.yomiuri.co.jp/s/ims/zoomcarehome/>

介護施設らしくない介護施設、「はっぴーの家ろっけん」が取り組む新・社会ビジネス | 未来コトハジメ (nikkeibp.co.jp)

「はっぴーの家ろっけん」のごちゃ混ぜな日常: 読売新聞 (yomiuri.co.jp)

体験・居場所混合型

- ④ ブックハウス矢田東 (東住吉区 住道矢田) & まちライブラリー
まちライブラリー (machi-library.org)

3 比較検討 別紙参照

4 今後の進め方について